

# 精神科における手洗い指導を中心とした患者教育の実際

中島百合<sup>†</sup>第70回国立病院総合医学会  
(平成28年11月11日 於 沖縄)

IRYO Vol. 71 No. 12 (505-508) 2017

## 要旨

病状によりセルフケアや自己の衛生管理能力が低下した患者を多く抱える精神科の医療現場では、ノロウイルス性胃腸炎やインフルエンザなど感染力の強い感染症が蔓延するリスクが高いため、国立病院機構久里浜医療センター（当院）ではこれらの医療関連感染を防ぐために、手洗いを中心とした患者教育を重点課題として継続的な取り組みを実践している。入院患者を対象とした部署毎の手洗い学習会をはじめ、入院オリエンテーション時や外出・外泊に出かける前の個別指導、さらに、食事前の確実な手洗いの習慣化をねらった看護師の見守り指導などを実施している。

一般科に比べ在院日数が長く、感染対策に患者協力が得られにくいという特徴をもった精神科では、感染対策をより効果的なものにするために、医療従事者が患者やその家族などの協力も得ながら、病院全体で感染対策に取り組む風土作りが重要である。そのためには、職員教育に加え患者教育をいかに充実させるかが大きな課題となる。

今後は、患者教育の効果をより高めるために、病期の違い、あるいは患者の日常生活動作の自立度や患者個々の認知機能・理解力などを加味した上で、対象となる患者の背景を考慮した教育・指導の在り方や工夫を検討することが必要である。また、患者教育が感染制御に繋がったという報告は少ないため、これらの有効性の検証がさらなる課題である。

キーワード 精神科, 感染制御, 患者教育, 手洗い

## はじめに

精神科の医療現場における感染対策は一般科に比べ特殊性が高い。精神疾患に罹患した患者の特徴や、

精神科ならではの病棟環境を踏まえた感染対策の実践が求められる。以下に述べる精神科の患者の感染症に対する脆弱性を考えた時、精神科では職員教育と同時に患者教育を実施し、感染対策への協力を得

国立病院機構久里浜医療センター 看護部 <sup>†</sup>看護師

著者連絡先：中島百合 国立病院機構久里浜医療センター 看護部 〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5-3-1

e-mail: iryouanzen@kurihamal.hosp.go.jp

(平成29年3月1日受付, 平成29年7月14日受理)

Current Status of Patient Education Focusing on Hand Washing Instruction in Psychiatry

Yuri Nakajima, NHO Kurihama Medical Center

(Received Mar. 1, 2017, Accepted Jul. 14, 2017)

Key Words: psychiatry, infection control, patient education, hand washing